

令和6年4月16日（火）

照会先：保健医療部生活衛生課食の安全対策室

担当者：室長補佐 澁澤 弥生

連絡先：029-301-3424（内線 3421）

食中毒発生概況について

- | | |
|------------|--|
| 1 探知 | 令和6年4月7日（日）12時頃、竜ヶ崎保健所から「管内の医療機関より食中毒を疑う患者3名を診察した旨の情報提供があり、患者らはつくば保健所管内の飲食店を利用しているようだ。」との連絡がつくば保健所あてに入った。 |
| 2 事件の概況 | 施設を管轄するつくば保健所の調査によると、令和6年4月5日（金）及び4月6日（土）に、つくば市内の飲食店「ラ・シャロント」で会食した5グループ21名中16名が嘔吐、下痢等の食中毒様症状を呈していることが判明した。
調査の結果、患者の共通食が当該施設の食事に限られたこと、患者便と共通食である「ヒラメのマリネ」の残品から、クドア・セブテンpunkタータが検出されたこと、症状及び潜伏期間がクドア・セブテンpunkタータによるものと一致したこと、患者を診察した医師から食中毒発生届が提出されたこと等から、本日、つくば保健所は当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定した。
なお、患者らはいずれも快方に向かっている。 |
| 3 原因施設 | 屋 号：ラ・シャロント
営業者：佐藤 洋行
所在地：つくば市筑穂3-1-6
業 種：飲食店営業 |
| 4 原因となった食事 | 4月5日（金）及び4月6日（土）に調理、提供したヒラメのマリネ |
| 5 病因物質 | クドア・セブテンpunkタータ（寄生虫） |
| 6 発生日時 | 令和6年4月5日（金） 午後3時頃（初発） |
| 7 摂食者数 | 21名（男性9名 30～90歳代、女性12名 10～80歳代） |
| 8 患者数 | 16名（男性9名 30～90歳代、女性7名 40～80歳代） |
| 9 主症状 | 嘔吐、下痢、腹痛 等 |
| 10 検査状況 | 拭き取り：5検体（施設、器具）
食 材：11検体（患者利用日に提供された食材の残品）
検 便：15検体（患者：13検体、調理従事者等：2検体）
結 果：食材（ヒラメのマリネ）及び患者便（1検体）からクドア・セブテンpunkタータが検出された。 |
| 11 その他 | 当該施設では4月7日（日）から自主休業をしており、その間に保健所の指導事項が改善されていることから、行政処分は行っておりません。 |

【参考】茨城県内（水戸市を含む）の食中毒発生状況（令和5年、令和6年）

	事件数	患者数	死者数
令和6年の発生状況（本件を含む） （令和6年1月1日～令和6年4月16日）	4件	21名	0名
令和5年の発生状況 （令和5年1月1日～令和5年4月16日）	4件	52名	0名
令和5年の発生状況 （令和5年1月1日～令和5年12月31日）	13件	148名	0名

【参考】茨城県でのクドア・セプテンpunkタータによる食中毒発生状況

発生日月日	発生場所	患者数	死者数
平成27年4月5日	土浦市	9名	0名
平成24年7月8日	牛久市	7名	0名

県民の皆様へ

クドア・セプテンpunkタータとは

○クドアとは、何ですか？

Kudoa Septempunctata(以下「クドア」と称します。)は、ヒラメの筋肉に寄生するクドア属の寄生虫(粘液孢子虫)の一種で大きさ約10マイクロメートルの胞子を形成します。

その生態は、よく判っていませんが、多毛類(ゴカイ)と魚類との間をいったりきたりして各々に寄生しているといわれていますが、ヒトなどのほ乳類には寄生しないということです。

○クドア食中毒とは？

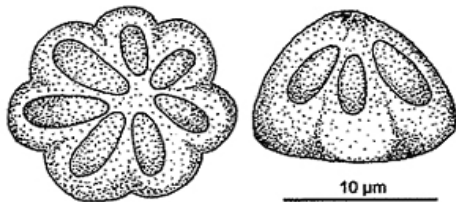
クドアによる食中毒は、生食用生鮮ヒラメ(ヒラメのお刺身等)に関連するものが多く、食後数時間程度で一過性の嘔吐や下痢を呈し、軽症で終わる症状が特徴です。

このため、筋肉1グラムあたりのクドアの胞子数が 1.0×10^6 個を超えることが確認された生食用生鮮ヒラメは、食品衛生法第6条に違反するものとして取扱うこととしています。

○クドアによる食中毒の予防方法と対策？

クドアは、 -20°C で4時間以上の冷凍、または、中心温度 75°C 5分以上の加熱により病原性が失われることが確認されていることから、一度凍結や、加熱調理することにより食中毒は防止できると考えられています。

また、農林水産省及び水産庁では、食中毒防止策として、ヒラメの養殖場での適切な管理により、クドアがヒラメに寄生することを防止する取組みを行っており、食中毒数は低下しています。



クドア・セプテンpunkタータ

出典:平成23年4月25日
厚生労働省 薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会
食中毒・乳肉水産食品合同部会
「資料2」から抜粋